

決算特別委員会 平成30年度各会計決算を審査

決算特別委員会が設置され、9月18日から20日までの3日間にわたり、平成30年度花巻市一般会計歳入歳出決算など7件の会計決算について審査を行いました。

本市の平成30年度一般会計決算額は、前年比マイナス0.6%の486億7234万円となりました。審査の結果、すべての決算が原案どおり認定すべきものと決定しました。

審査における主な質疑・答弁の内容は次のとおりです。

*会計年度任用職員

Q 導入に向けた委託の内容と導入した場合の財政負担は？

A 第一法規株式会社へ、移行に向けて法整備等を委託したもの。財政負担は、

現在の臨時職員がすべて移行したとして約2億円アップと試算している。

*子育て世帯の住宅取得支援事業

Q 奨励金の交付件数は、目標値10件に対し、実績29件の地域別と内容別件数は？

A 地域別では花巻地域26件と石鳥谷地域3件となっており。花巻地域は親と同居が4件、親の近所に居住が12件、生活サービスマチ点へ居住が10件。石鳥谷地域では近居が1件、生活サービス拠点が2件となっている。

*障がい者福祉費

Q 障がい者雇用促進支援事業奨励金の実績は？

A 一般企業の実習につながる方がいなかったことで、平成30年度においては実績がなかった。今後も制度についてPRを行っていく。

Q 在宅超重症児(者)短期入所受け入れ支援給付の成果と施設との連携の課題は？

A 平成30年度の利用者は1名で13回。受け入れ事業所は2事業所。短期入所事業所拡大、日中の支援は難しいが今後、他の診療所にも働きかけていく。

*小中高生医療費助成

Q 所得制限を撤廃する検討は？

A 随時シミュレーションを行っており、特に中高生については、市の単独事業になるため、今後、子育て支援全体の中で実施できるかどうか判断していく。

*公共施設マネジメント計画

Q 公共施設マネジメント実施計画は3月までに策定するとされていたが、いつごろになるのか？

A 各部の意見を整理し協議を進める中で相当時間を要するのが実態であり、国が求める令和2年度をリミットとしつつ、できるだけ早い時期に策定したい。

*避難対策事業

Q 自主防災組織への避難行動要支援者名簿の提供について、同意率と条例化の考えは？

A 同意率は平成30年10月時点で73.3%となっている。同意率が上がらない中で、逆手上げ方式(同意しない方に手を上げていただき、手を上げない方は同意とみなす)など条例化に向けて作業を進めている。12月の議会に上程したいと考えている。

*道路パトロール

Q 道路パトロール等の外部委託の予定は？

A 各部署から聞き取り、共通部分については外部委託を検討する。



開館から40年以上が経過している花巻市文化会館

*** 督促状の手数料納付**

Q 固定資産税の納付督促状の手数料が「ゆうちょ銀行」で納付ができない。この対策は？

A 納税は、コンビニ収納や平成28年度からはゆうちょ銀行でも取り扱っているが、手数料はゆうちょ銀行の承認を得ていない。今後、協議し取り扱いできるように検討していく。

*** 生活保護費**

Q 生活保護受給者の医療扶助の対象病院に整骨院は入らないのか？

A 整骨院等については、国からの基準が示されており、病院からの紹介状を持ったうえで受診をしていただく。

*** 健康長寿**

Q 敬老会事業補助金はどのような配分か？

A 75歳以上の方1万7497人分、一人あたり1200円を各地区に交付している。



敬老会で小学生がお祝いのメッセージを渡しました（亀ヶ森地区）

*** 保育サービス向上支援事業**

Q 病後児保育の職員体制と勤務形態は？

A 職員は、看護師1名、保育士2名。非常勤体制ではあるが、勤務条件を確認し、雇用契約書を結んでいる。

*** 介護人材確保事業**

Q 対象とその内容は？

A 高校生に対しての介護セミナーを実施。学校へ出向き、地域の社会福祉法人の職員が講演し、花巻東高校180人、大迫高校46人、花北青雲高校42人が受講。

中学生へは、平成30年度の実施はなかったが、今後内容も考慮しながら行いたい。

*** 学力調査**

Q 市が行う到達度学力調査の対象は？

A 国、県が行う学力調査の対象学年以外の小学校3年生、4年生、中学校1年生を対象に花巻市独自で児童生徒の学力を把握して、課題を明確にしながら指導を充実させるため実施している。

*** エアコン設置**

Q 普通教室以外へのエアコン設置要望はなかったか？

A 学校の施設担当者等との教室にエアコンが必要か精査して決定している。



教室にエアコンが設置され、教育環境の向上が期待される（南城小）

*** ふれあい教育推進員の人材確保は？**

Q ふれあい教育推進員の人材確保は？

A 人材確保には苦勞しており、学校現場の先生方

が知り合いの学校経験者をお願いして推進員としている。

*** 児童生徒表彰**

Q 児童生徒表彰の時期は適切か？

A 平成29年度と30年度はインフルエンザの蔓延時期で学校に出向いて表彰した。今後、表彰時期や表彰形態について再度検討する。

*** DV対策**

Q DVや虐待の相談状況はどうか、相談員の対応人員に不足はないのか？

A DVの相談員は1人、相談件数は91件。児童虐待の相談員は3人で、相談件数は81件、一時保護が19件。相談員の数は昨年度に増員しており、当面は現状で対応する。